

《東大和市》

- 東大和市の教育に関する大綱
- 東大和市教育委員会の教育目標
- 第二次東大和市学校教育振興基本計画

《教育目標》

- 正しい判断ができる(判断力)
- 協力し実践ができる(協力・実践)
- 自他を尊重する(敬愛心)

《東大和市教育委員会主要施策》

- 確かな学力(学力向上、読書教育 等)
- 豊かな人間性(健全育成、職場体験 等)
- 健康・体力(健康教育、体力の向上)

目指す学校像

- 生徒が主体的・対話的で深い学びに努め、「できた状態」「分かった状態」「生かせる状態」を実践できる**魅力ある学校**
- 「考えて楽しい」「皆で意見を交わして楽しい」心が弾む授業を通して、今日が楽しく明日が待ち遠しい**活力あふれる学校**
- IMO-ZO CS(コミュニティ・スクール)の運営をととして、学びのキャンパスとしての地域と連携・協力を深める**信頼される学校**

新型コロナウイルス感染症への対応を継続し、P Cを用いたリモートによる学びと学校での対面の学びを効果的に組合せます。

経営支援部

学校のスピード・アップを実現

- 管理職と主幹教諭で構成
管理職と主幹教諭による主任教諭や若手教員への助言をととして、学校の様々な対応にスピード感をもたせます。
- 災害や疾病等への対応
見通しが難しい社会的な問題に対して、学校の幹となる対応策を直ちに作ります。
- 3つの分掌を支援
幹となる対応策を教務部・生活指導部・進路指導部へ指示して、具体策を練ります。
- 3つの分掌の取りまとめ
授業を補うための取組み(授業時数を生み出すことや家庭学習の内容とその評価の在り方)を総合的に考えて、生徒の学習権を保障します。
- 教職員への当事者意識の啓発
学校が困難な状況の時にネガティブな思考(できない論)を慎み、ポジティブな思考(具体策を考える)をする風を職員室に作ります。
- 修学旅行の取組みの改善 **【新規】**
教務部と連携して、今年度から修学旅行を第2学年で実施します。
- ◆ 40周年行事の実施 **【新規】**
学校行事に「創立40周年」を冠し、本校の伝統と文化を価値付けます。

教務部

教育課程の確実な運営

- 1人1台のP Cを活用した授業 **【新規】**
東大和市教育課題研究指定校として、リモートによる学びと対面による学びの研究を深めます。
- 教育課程に位置付けない補習
8月2日～8月6日(5日間)を補習日にして基礎学力の定着を図ります。
- 単元テストの実施(定期考査の廃止)
全教科の各単元の学習内容を精選して、十分な学習内容の定着が図れるようテストの内容や期日を改善します。
- 単元テスト年間予定表の作成 **【新規】**
全教科の年間の単元テスト一覧表を作成して生徒にテストの見通しをもたせ、学習のめあてを示します。
- 全員学級担任制(固定学級担任の廃止)
いじめや自然災害等への生徒の不安感に寄り添い、相談できる教員の窓口を広げます。
- 特別支援教育の推進
特別支援学級の教員を生かし、通常の学級の困り感のある生徒への支援を継続します。
- ◆ 小中一貫教育の推進
三校交流会(3回/年)を通して小学校の教員と学習指導観・生活指導観を共有します。

生活指導部

地域から信頼される生徒の育成

- 校内施設の衛生の保持
生徒や教員が触れるドアや蛇口等の消毒に努め、新型コロナウイルス感染症の感染への未然防止を継続します。
- 「生活指導の手引き」
個々の教員の指導観に依存しない組織的な生活指導に取組みます。
- 「授業と生活指導チェックカード」
全教員が毎月、本チェックカードで学習指導・生活指導を振り返り、指導力を高めます。
- 「生活指導報告書」の作成の徹底
指導した教員が問題行動の指導の経過・報告書を作成して全教員で情報を共有し、一人一人が問題行動への当事者意識をもちます。
- ジュンカイ(巡回)ダーによる全学級の監護
教員がペアで校内を毎時間巡回し、問題行動の未然防止や生徒の安全確認に努めます。
- 歯磨きウィークの通年化
口腔衛生の習慣化に取組むことを通して、虫歯罹患者とインフルエンザ罹患者の減少に努めます。
- ◆ FSS:First Step School
入学する第6学年の児童を対象にして春季休業中にFSSを開設し、中1ギャップの解消に努めます。

進路指導部

主体的な学びの定着

- 学力向上サイクル(別添) **【新規】**
「中学生の教科学習」⇒「授業」⇒「家庭学習」⇒「単元テスト」⇒「学習改善」のサイクルを徹底します。
- 追試学習会
(1)単元テストの不合格者を対象にした放課後の学習会を継続します。
(2)任意の小テストの補習としても放課後の学習会を継続します。
- IMO-ZO 学習教室(地域未来塾事業)
塾講師の放課後の補習(数学)を継続します。
- 各種検定の推奨
日本漢字能力検定や実用英語技能検定等の受検を推奨します。
- 「中学生学習教室」スタディ・アシスト事業
塾講師を活用して3学年の希望者を対象に、進学を目的とした土曜日の学習支援を継続します。
- ◆ 社会性の向上
(1)学校生活の自己評価
各学期(3回/年)、生徒に学校生活を振り返えさせ、社会性の習得を図ります。
(2)職場体験
地域の事業所での体験を通してコミュニティでの社会性を向上させます。

◆◆◆ ライフ・ワーク・バランスの推進 ◆◆◆

《取組みの方向性》

- 時間外勤務時間の上限の原則(45時間/月、360時間/年)を遵守します。
- 休暇の取得は自己啓発と体調管理に資することの意識改善を推進します。

《具体的な方策》

- 定時退勤日の設定(2回/月)
- Anniversary 休暇の設定(2回/年)
- マイ定時退勤日の設定(1回/週)
- 定時退勤ウィークの設定(1回/夏季休業中)